

認知症ってどんな病気？

認知症とは、様々な原因となる疾患により認知機能（記憶・判断力・見当識など）が低下し、生活に支障が出ている状態をいいます。



「もの忘れ」と「認知症」の違い

加齢によるもの忘れ	認知症の記憶障害
うっかり!	すっかり!
ヒントがあれば思い出す	ヒントがあっても思い出せない
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全体を忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人を誰か分らない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	食べたこと自体を忘れている
約束をうっかり忘れてしまった	約束したこと自体を忘れている
物覚えがわるくなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違えることがある

認知症を引き起こす脳の病気

	原因	症状
アルツハイマー型認知症	脳の神経細胞が減少し、脳が委縮して脳機能が低下する。ゆっくりと発症し、徐々に悪化する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本人は病気の自覚がないことがある ● 昔の記憶は比較的保たれる ● 新しい事が覚えにくく忘れやすい ● 時間、場所、人の判断がつかなくなる
脳血管性認知症	脳梗塞や脳出血等のために脳の血管が詰まったり破れ、その部分の脳の働きが悪くなり起こる。	<ul style="list-style-type: none"> ● もの忘れ、頭痛、めまい、しびれなど ● 一部の能力は低下するが、別の能力は比較的大丈夫で、まだらに低下する ● 記憶障害があっても、人格や判断力は保たれることが多い
レビー小体型認知症	脳にレビー小体という物質が蓄積し脳が障害される。	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期に幻視(小動物や人等)が現れる ● パーキンソン症状(身体が硬くなる、動作が遅くなる)がしばしばあらわれる
前頭側頭葉変性症(ピック病)	脳の前頭葉と側頭葉の委縮が進行する	<ul style="list-style-type: none"> ● 性格の変化がみられる ● 反社会的な行動(万引きなど)や反道徳的行動がみられる

認知症ではこんな症状が occurs

中核症状

記憶障害

新しいことを記憶できず、数分前のことも思い出せなくなってしまいます。病気が進行すれば、覚えていた記憶も忘れてしまいます。

見当識障害

自分の居場所や、時間の感覚が分からなくなります。認知症の進行に伴い、目の前にいる人が誰か分からなくなることもあります。

実行機能障害

自分でなにかしようとする気持ちが低下し、計画的に段取りよく目的に向かって行動することができなくなります。

理解・判断力の障害

考えるスピードが遅くなったり、二つ以上のことが重なると対応できなったり、目に見えない仕組みの理解ができなくなります。(銀行のATMの操作など)

中核症状に、不安やあせり、心身の不調、周囲の適切でない対応など、本人の性格や環境などが影響

行動・心理症状

妄想 ・ 幻覚 ・ 攻撃的な言動
徘徊 ・ 無気力 ・ 介護に抵抗する
などが起こります

行動・心理症状は、適切な治療や周囲のサポートにより症状をやわらげることが望めます



● 基本姿勢 ●

認知症の人への対応の心得 “3つの「ない」”

- ① 驚かせない ② 急がせない ③ 自尊心を傷つけない